

第2学年1組 図画工作科学習指導案

研究主題

つくりだすことに熱中する図画工作科学習
～対象との対話を重視しながら、自分らしく表現できる子どもの姿を求めて～

1. 題材名 「高くらタウン」をつくろう [A表現(2) 工作③]

2. 指導観

○ 本学級は、図画工作科の時間を楽しみにしている子どもが多く、どの題材にも意欲的に取り組み、楽しく活動している。9月に学習した題材「のりのりおはながみで」では、お花紙をちぎって並べたり重ねたりする活動を楽しんでいる。お花紙の触り心地を味わいながら 重なったお花紙の形や色の面白さを生かして友達と対話をしながら、自分なりの思いを意欲的に表現することができた。また、題材「めざせ！カッターナイフ名人」では、ほとんどの子どもが初めてカッターナイフを扱い、作品づくりに取り組んだ。1枚の紙の中にかくれている形を想像しながら、カッターナイフを使って紙を切り、切った形をもとに表したいことを見つけて作品をつくることができた。これらの活動を通して、形や色に目を向けて表現を楽しんだり、友達との交流から表現のよさを学び、自分の表現に生かしていくことのよさを実感したりすることができるようになってきている。しかし、中には、表したいものが思い付かない子ども、いつも似たようなものしか思い付かずイメージを広げることの難しい子どもも見られる。

※ 図工に関するアンケート結果（6月実施）

質問項目	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
①おもしろい形や色、材料を見つけた時、これで何かできそうだと思うことはありますか。	50%	11%	8%	31%
②自分でかき方や作り方を考えたり、工夫したりすることは好きですか。	19%	50%	8%	23%
③作品づくりをする時に、わくわくしてもっとつくりたいと思うことはありますか。	62%	15%	15%	8%
④友達の作品を見たり、相談したりして作品をつくりましたか。	19%	27%	12%	42%

3. 研究の視点

○ 本題材では、紙を折ったり、曲げたりして立てる方法を試す中で、意図的あるいは偶然に生まれた紙の形状から発想し、自分なりのテーマを決めて紙を切り抜いたり切り起こしたりして表情をつけ、複数の形を組み合わせる立体的な「たてもの」をつくる活動を通して、自分らしい造形的な表現を追求したり、発見したりすることがねらいである。いろいろな切り方を試すことで、カッターナイフの使い方に慣れ、紙を折ったり曲げたりして立てる方法を試しながら想像を広げ、自分のイメージに合うように工夫して表現する力をつけていきたい。また、異なる紙の立て方を提示することで、紙を立てる方法が一つではないことを知らせるとともに、子どもの考え方や発想を大切に、折る、曲げるなど様々な立て方にチャレンジさせるようにする。さらに、接着剤による接合方法やカッターナイフの安全で適切な使い方の指導を徹底することで、自分のイメージに合うように、工夫して表現できるようにしていきたい。

○ 本単元の指導に当たっては、以下の二つに重点を置くようにする。

<視点1> 題材設定や展開の仕方を工夫する視点から

① 題材設定の工夫について

「であう」段階では、子どもが自ら作りたいという思いを持てるように、異なる紙の立て方を提示する。紙を立てる方法が一つではないことを知ることで、発想を広げ、作品づくりに取り組めるようにする。材料に色画用紙を使うことで、立てる際簡単に取り扱いことができ、失敗を恐れず意欲をもって活動することができるように考える。

② 題材との出会わせ方や展開の工夫について

「みつける・あらわす」段階では、「言葉のパレット」を掲示し、いろいろな形や開き方の窓をイメージすることができるようにする。また、何度も試しながらカッターナイフに慣れることができるように、直線や曲線を切ったり窓を開いたりする練習用紙や、試すための紙を十分に用意する。さらに、つくった作品に明かりを灯して見ることで、活動への見通しを持たせ、もっとたくさん窓を開けて光を通したくなるよう、意欲を高めるようにしたい。

<視点2> 言語活動の場や方法を工夫する視点から

① 感じたことを共有する言語活動について

紙の立て方を考える時や、窓をつくる時は、1グループ3～4人で活動するようにする。共通の場でつぶやきながら紙を立てたり窓をつくったりすることで会話が生まれ、表し方の面白さに気付いたりヒントを与え合ったりすることが期待される。「みつける・あらわす」段階では、前題材でつくった「言葉のパレット」を提示し、いろいろな切り抜き方や切り起こし方に興味をもたせるようにする。学級の共有財産である「言葉のパレット」を掲示しておくことで、自分のつくろうとする建物に合った窓のイメージを膨らませたり、発想を広げたりすることに役立てたい。

② 対象との対話の積み重ねと学習評価の工夫について

活動の振り返りを記入する「ふりかえりシート」には、窓の開き方や形、大きさ、位置や組み合わせなど、どんなところが気に入っているのかということに目を向けて書かせるようにすることで、どんな思いをもって表現をしているのかなどについて把握し、支援に生かすようにしたい。

「あじわう」段階では、「高くらタウン」に自分たちのつくった作品を集めて並べ、部屋を暗くして明かりを灯し、町の中を歩きながら作品を鑑賞する。みんなで町を完成させる楽しさだけでなく、明かりに映し出された窓の輪郭や色の美しさを友達と共有する楽しさや、満足感を十分に味わわせたい。

4. 目標

知識及び技能	○互いの作品を見合うことを通して、建物や窓の形の面白さに気付くことができる。 ○カッターナイフの扱いに慣れ、表したいことをもとに建物や窓の形・色の組み合わせなどを工夫して表すことができる。
思考力, 判断力, 表現力等	○カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えることができる。

学びに向かう力, 人間性等	○カッターナイフで紙を切る快さを味わいながら, 活動に楽しく取り組もうとしている。
---------------	---

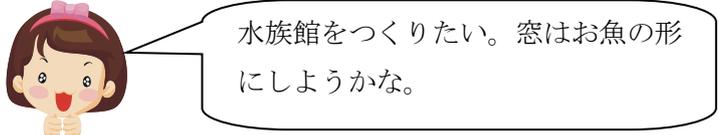
5. 指導計画と評価計画 (総時数6時間)

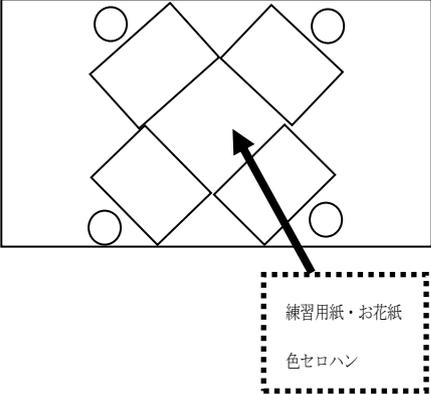
	主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 ◎ <u>主体的・対話的で深い学び</u>	評価規準および評価方法
であらう	<p>1 紙が立つ仕組みを知り, 様々な紙を立てる方法を試してみる。 ②</p> <p>(1) カッターナイフの使い方を知る。教科書や参考作品を見て, 紙が立つ仕組みを知る。</p> <p>(2) 様々な紙をねじったり折ったりしながら試しに立てる。</p> <p>(3) 紙を立てた状態から, 発想を広げ, どんなものがつくれるかアイデアを考える。</p>	<p>○ 異なる紙の立て方を提示することで, 紙を立てる方法が一つではないことを知らせ, 子どもの考えや発想を大切に, 折る, 曲げるなど様々な立て方にチャレンジさせ, 意欲付けを図るようにする。</p> <p>○ 紙を立てた方法を「ぎゅっとねじる」「かくかくに折る」といった言葉で表現して, テーマを見つけるためのイメージを膨らませるようにする。</p>	<p>【態】紙をいろいろな方法で立ててみたり, 立てた形から思い付いたりして, 楽しんで表現しようとしている。 (発言・行動観察)</p> <p>【思・判・表】紙を立てた形の特徴からイメージを広げ, 自分なりのテーマを思い付いている。 (発言・行動観察・ワークシート・作品)</p>
みつめる・あらわす	<p>2 立てた時の様々な形から思いを広げ, テーマをもってつくる。 ③</p> <p>(1) つくりたいものを想像し, カッターナイフで紙を切り抜いたり切り起こしたりして様々な形の窓をつくる。 〈本時1/3〉</p> <p>(2) さらに想像を広げ, 窓の内側からお花紙を貼って色をつけた</p>	<p>○ 立てた時の紙の感じやそれから想像したことを基に, 大まかなテーマを見付け, 形や色などのアイデアをワークシートにかいたり, 話し合ったりすることで, 活動への見通しを持たせることができるようにする。</p> <p>○ <u>どんな形, 大きさ, 開き方の窓をどこにつくり, どんな建物にしたいかを問いかけ, 話し合わせるなかで, 様々な表現方法があることに気付かせるようにする。</u></p> <p>◎ <u>「見て見てタイム」を行い, 楽しく互いの作品を見合うことで, 楽しそうな町ができる予感を得るとともに, 作品のよさや面白さに気づき, 互いを認め合い, 作った喜びを感じ取ることができるようにする。</u></p> <p>○ 接着剤による接合方法やカッターナイフの安全で適切な使い方の指導を徹底することで, 自分の思い描いたもの</p>	<p>【知・技】カッターナイフで切り抜いたり切り起こしたりして, 窓の開き方や形, 位置や組み合わせを工夫して表現している。 (発言・行動観察・作品)</p> <p>【知・技】紙の接合や加工方法を工夫したり, 窓の色や飾る材料を工夫したりし</p>

	り、壁面に飾りを付けてりして表現を工夫していく。 (3) 建物の配置や組み合わせ方を考え、台紙に貼る。	に合うように、台紙に紙を立たせたり、カッターナイフで窓を開けたり、お花紙で色を付けたりして、工夫して表現できるようにする。	て表現している。 (行動観察・作品)
あ じ わ う	3 自分や友達がつくった作品を集めて「高くらタウン」をつくり町の中を歩きながら作品を鑑賞する。①	◎ 作品を見て気付いたことをワークシートに書かせたり発表させたりすることで、互いのテーマや表現方法の違いから、よさや面白さを感じ取ることができるようにする。	【思・判・表】自他の作品を見て、形や色の組み合わせ、重なり、高低差の変化による作品の見え方の面白さや美しさに気付いている。(観察・対話・ワークシート)

6. 本時の学習 令和3年10月27日(水) 第5校時 教室, 少人数教室

- (1) 主眼 カッターナイフで紙を切り抜いたり切り起こしたりする活動を通して、つくりたい窓の形や開き方を考え、自分のイメージしたまどのある建物を工夫することができるようにする。
- (2) 準備
 ① 教師 カッターナイフ, カッターマット, 「言葉のパレット」, 練習用紙, 色セロハン, お花紙
 ② 子ども 色画用紙, ワークシート, ふりかえりシート
- (3) 展開

	主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点【観点】評価規準(評価方法) ◎ 主体的・対話的で深い学び ★ 一人一人のつまずきへの支援のポイント
で あ う	1. 前時学習を想起し、本時のめあてを確かめる。 (1) 「言葉のパレット」を見て作品づくりの見通しをもつ。 (2) めあての確認をする。	◎ 前題材でつくった「言葉のパレット」を提示し、切り抜き方や切り起こし方を工夫して、いろいろな窓をつくるという見通しをもつことができるようにする。  めあて 形やひらき方をくふうして、お気に入りのまどをつくろう。
み つ け る ・ あ	2. 形や位置, 開き方を考えながらいろいろな窓をつくる。 	○ 「○○の窓ができた。」と友達と話しながら、製作できるように、3～4人のグループで活動できる場を設定する。 ○ 「ねかせて、チクッ、ひじでスーッ」の合言葉を思い出しながら、カッターナイフを使うように声かけをする。 【知・技】カッターナイフで切り抜いたり切り起こしたりして、窓の開き方や形, 位置や組み合わせを工夫してつくっている。

<p>ら わ す</p>	<p>上のほうにハート形の窓をつくりたいな。</p>  <p>《設定した場（グループ）の図》</p> 	<p>(発言・行動観察・作品)</p> <p>○ 自分の思い描いたことに合うように、切り方を工夫している子どもには、よい点を具体的に称賛する。</p> <p>★一人一人のつまずきへの支援</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 活動が進まない子どもについては、「言葉のパレット」にあるものの中から自分の建物に合うものを選んで、表現することができるようにする。 ◆ 失敗を恐れてなかなか進まない子どもについては、練習用紙を使って試しながら作品づくりを進めるように声かけをする。 ◆ 子どもが考えたことに共感したり、こだわりをもってしていることを認めたりすることで、安心して作品づくりに取り組むことができるようにする。 </div> <p>○ 作業が停滞している子どもについては、「見て見てタイム」を設けグループ以外の友達と交流し、イメージを広げることができるようにする。</p>
<p>あ じ わ う</p>	<p>3. 本時の学習を振り返り、次時の学習について話し合う。</p>	<p>○ 本時の振り返りと友達のよいところを「ふりかえりシート」に書くようにする。</p> <p>◎ <u>部屋を暗くし、明かりを灯して鑑賞し、自分や友達の作品の面白さや楽しいところ、表し方の工夫について発表することで、次時の学習への意欲や見通しをもつことができるようにする。</u></p>

今日の学習で目指す「熱中する子どもの姿」

カッターナイフで切り抜いたり切り起こしたり、立たせて見たりしながら、建物に窓をつくることを楽しみ、自分の作品や友達と対話しながら自分の思いが伝わるように、生き生きと活動に取り組む子ども。

<場の設定>

